

ほほえん de 北播磨

2018 April

平成30年4月

第16号

あいさつ



北播磨総合医療センター
病院長 横野 浩一

皆様のご理解とご支援を得て、北播磨総合医療センターはこの4月で開院以来5度目の春を迎えることになりました。現在、前年度の多くの病院運営に関する解析が進んでいますが、入院・外来患者数と各診療単価、救急受入件数や手術件数、重症度、医療・看護必要度などの主な病院の活動指標は順調に右肩上がりに推移しています。お陰様で平成29年度も平成28年度に続いて経常収益の黒字化を達成できる見込みです。また平成29年度の機器整備予算で、最新のCT撮影装置やより迅速で正確な診断のための遠隔病理診断システムの配備が可能となりました。

さて平成30年度は改革プランに沿って医療機関との連携強化並びにチーム医療やクリニカル

パスの活用を高め、安全で質の高い高度急性期医療を積極的に推進してまいります。増加する研修医や看護師のための職員宿舎の増設と、夜間救急医療に対応する医師や診療支援部のための仮眠室、さらには院内保育をサポートする病児保育室を併設する新宿舍棟の建築を開始し、平成31年春の開設を目指します。健康で働きやすい職場環境づくりを進め、過重労働の改善など最近問題となっている医療人の働き方改革に取り組みます。

今春からは、診療部では初期研修医のマッチング枠が11名となり、神戸大学のたすぎけと合わせて14名で2年目の10名と合計して24名と過去最大数です。昨年度より開始された新専門医制度は後期研修医の獲得にやや障害となりましたが、卒後3～5年目の後期研修医は27名となり、この4月の医師数149名の1/3以上が若さ溢れる初期および後期研修医ということになります。このようにこの春には約50名の新たな医師の着任がありますが、一方で約40名の医師が転出します。また看

護部や診療支援部においても退任される方も多く、本センターの開院前後の激動の時期を支えてくださった方々の新天地での益々のご活躍を心よりお祈りいたします。

最後に、皆様からのご意見を基に、より充実した地域連携を構築してまいりますので、今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

病院長あいさつ	1
ドクターのリレー講座	2
認定看護師リレー紹介	4
チーム・委員会の紹介	5
病院探検ツアー	6
がん相談支援センター設置	8
脳神経内科からのお知らせ 他	9
新CT装置稼動	10
病院機能評価認定	11
新任ドクター紹介	12
外来診療日程表	14
編集後記 他	16



発行／北播磨総合医療センター

広報委員会（事務局：地域医療連携室内）
兵庫県小野市市場町 926-250
電話 0794-88-8800(代表)
FAX 0794-62-9931
ホームページ <http://www.kitahari-mc.jp/>

～ドクターのリレー講座～ 『整形外科の紹介』

五十肩と肩腱板断裂のお話

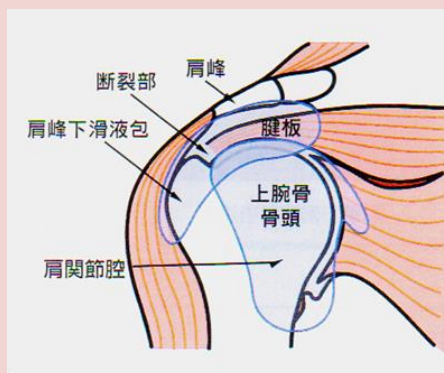


整形外科 総括部長 今 泉 泰 彦

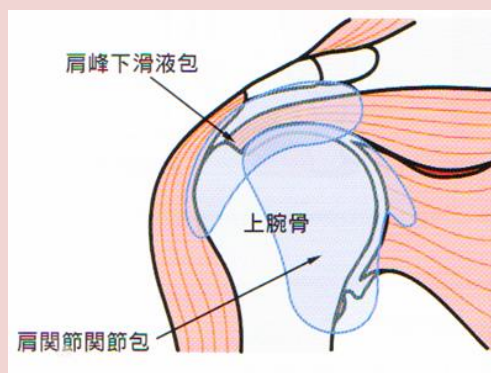


中年以降で「肩が痛くて夜も眠れない」「肩が痛くて腕が挙がらない」というと、「五十肩じゃない?」と放っておかれることが多いと思います。また、「どうせ五十肩だからすぐには治らない」とあきらめている人もいるかと思っています。本当に「ただの五十肩」なのでしょうか?肩の痛みを訴えていた人が「実は腱(けん)板断裂だった」という場合が少なくありません。今回はいわゆる「五十肩」と「肩腱板断裂」について説明いたします。

肩腱板は腕の骨(上腕骨)と肩甲骨をつなぐ板状の腱で腕を上げたり下げたりするときに、上腕骨頭が関節窩という面とすれないうように様に保つ、つまり、関節の支点を保つ働きがあり(図1)、これが断裂すると腕の上げ下げで肩関節の支点がとれなくなり、痛みや引っかかりなどの症状がでます。これが肩腱板断裂です。(図2)



▲図2 腱板断裂



▲図1 正常の肩関節

いわゆる五十肩、すなわち肩関節周囲炎と肩腱板断裂は、ともに40歳以上の中高年に多くみられ、肩の動きが制限され、肩を動かすと痛みが強くなり、特に夜間に痛みが増強するというよく似た症状を有しています。

原因として、肩関節周囲炎は、肩関節周囲の骨、軟骨、靱帯(じんたい)、腱が老化し関節周囲に炎症が起こるためと考えられています。一方、肩腱板断裂は、肩の打撲や捻挫(ねんざ)等の明らかな外傷によるものが半数で、残りの半数は腱板の老化とともに明らかな外傷はなく、日常生活の動作の中で自然に断裂が生じます。長年手を酷使されている農作業、建設業、山林業の方にも多く発生し、肩の使い過ぎも一因と考えられています。

症状としては肩関節周囲炎では、肩関節痛の継続とともに肩関節の動きが悪くなり、髪をといったり、後ろで手を結んだりすることが難しくなります。一方、肩腱板断裂では、肩関節周囲炎とは対照的に肩関節の動きは保たれてい

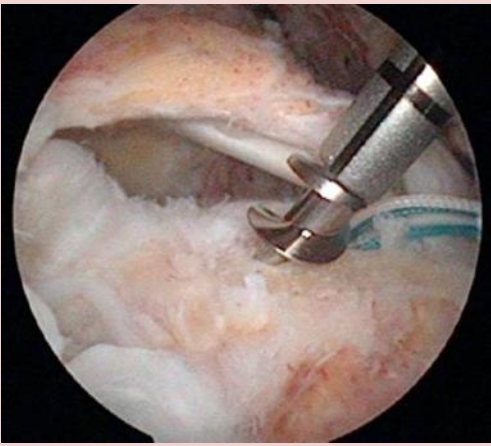
ることが多いですが、手を挙げる
と痛みが強くなり、手を挙げる時
に力が入らない、異常な音がする
と訴えられるのが特徴です。しか
し、症状だけで両者を診断するこ
とは難しく、X線検査(石灰沈着、
変形性関節症を診断)やMRI検
査、肩関節造影検査、エコー検査
(腱板断裂を診断)にて両者を診断
します。肩関節周囲炎は2年以内
にほとんどの人が自然治癒(ちゆ)
するとされていますが、疼痛が持
続し、肩が固まってしまうことも
あります。腱板断裂は50才以上の
方の約1/4にみられるとされてお
り、そのうちの2/3の方は無症候性
とされています。

肩関節周囲炎や腱板断裂の診
断のもと、湿布、内服薬、リハビ
リ、注射等の適切な治療により多
くの方は良好に回復されますが、
これらの方法で改善しない場合
は、手術的治療が必要となる場合
もあります。特に肩腱板断裂は断
裂した腱板の自然治癒は難しい
ため、保存療法湿布、内服薬、リ
ハビリ、注射が無効な場合は手術
的治療が必要とします。手術方法
としては直視下にて縫合する方

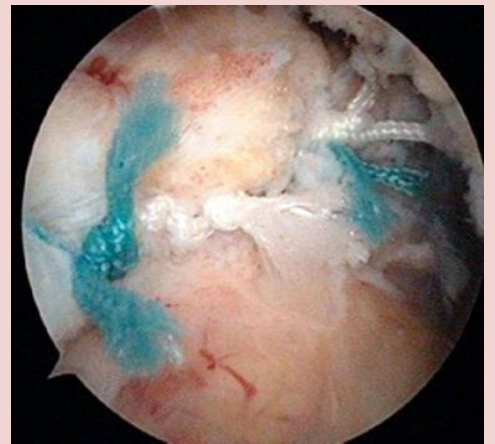
法が主流でしたが、近年は関節鏡
視下での手術が中心となってい
ています。当院においても保存的
加療が無効な例に対しては関節
鏡視下腱板断裂修復術を行って
います。(図3, 4, 5)



▲図3 腱板断裂部



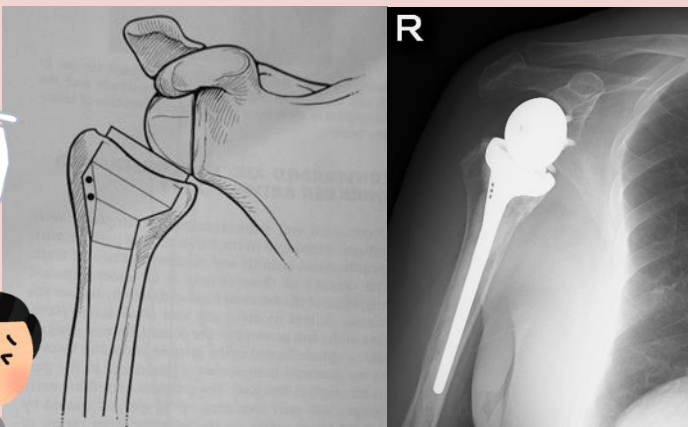
▲図4 スーチャーアンカー刺入



▲図5 縫合後

ただし、腱板断裂してから1年
以上挙上困難な状態で経過する
と、断裂腱が脂肪変性し、縫合が
不可能となったり、長期にわたる
と変形性関節症となり、難治性とな
る病態があります。このような
場合腱板修復が困難であるため、
リバース型人工肩関節置換術(図
6)が欧米で開発され、2014年4月
から我が国でも導入され、短期成
績ではありますが良好な成績が
得られるようになってきており
ます。当院でも適応となられる患
者さんには少数ではありますが、
リバース型人工肩関節置換術を
行っています。当科ではあいにく
人手不足の問題もあり、原則的に
ご紹介患者さんのみの診療を行

っておりますので、上記病名を疑
われる患者さんにおかれまして
は、近隣の整形外科にご相談して
いただき、精査加療が必要であれ
ば当院を紹介受診していただい
ればと存じます。
今回は肩関節のお話でしたが、
当院では人工関節や脊椎疾患な
ども積極的に治療を行っており
ますので、そちらの方で困りの
方がいらっしゃいましたら、当院
を紹介受診していただければと
存じます。



▲図6 リバース型人工肩関節置換術



～専門・認定看護師の活動リレー紹介～ がん化学療法看護認定看護師の巻

2階外来

主任 久留嶋 尚子



認定看護師とは

日本看護協会が策定した資格認定制度の資格の一つ。特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護が実践できる看護師のことを指す。高度化・専門分化が進む医療現場における看護ケアの広がりや看護の質の向上を目的としている。

「がん化学療法」って何？

がん化学療法とは、抗がん剤を中心とした薬剤の投与によって、がん細胞の成長過程を妨げ、がん細胞を破壊する全身療法です。

化学療法の目的には、①治癒を目指す②延命を目指す③がんによる症状を緩和し、生活の質の向上を目指す④転移・再発を予防する⑤他の治療法の効果を上げる（補助療法）などがあります。患者さんの病態や全身状態にもよりますが、当院では抗がん剤の初回導入療法や薬剤の変更時は入院での投与を基本としています（一部の薬剤は対象外）。

化学療法は、個人差はありますが様々な副作用が起こると言われています。入院での初回導入投与時に副作用の観察や対策を行い、外来で継続可能か医師が判断した上で外来化学療法室で治療が継続されます。外来では、前回の治療から次の治療日までまでの体調を副作用チェックシートを用いて把握していきます。患者さんには外来化学療法オリエンテーション時に副作用チェックシートの活用方法や必要性を十分説明し、理解を得ています。

看護師は副作用チェックシートを基に患者さんに聴き取り、副作用マネジメントを行います。

治療中に起こった副作用はできる限り副作用チェックシートに記入していただくことにより早期に発見・対処につなげることができます。吐き気などの副作用であれば、薬剤師に相談し、薬剤師から主治医に適切な制吐剤（吐き気止め）の処方提案します。また皮膚乾燥や亀裂など皮膚に障害を起こしたり、爪が割れたり変形したりするようないかなや薬剤を使用する際には予防策をとり、それでも起こってしまった場合は、患者さんにケア方法を説明します。患者さんの状態に合わせたケアや説明ができるように外来化学療法室のすべての看護師で情報共有し、相談支援を行っています。

今後多職種と連携をとりながら、がん化学療法看護認定看護師として支援していきたいと考えています。



副作用チェックシート

前診察までに診察室で計測して下さい		CVポート穿刺			静脈穿刺			ID		
体重	kg	穿刺針	13mm	19mm	25mm	穿刺針	22G	24G	()	氏名
血圧	mmHg	穿刺	あり	なし	なし	穿刺	あり	なし	なし	前回治療日 平成 年 月 日
脈拍	回	注入抵抗	あり	なし	なし	注入抵抗	あり	なし	なし	治療日 平成 年 月 日
体温	℃									
SPO2	%									

前回治療日から治療前日までで最もつらかった時の症状について、治療当日の状況を数字でご記入ください。

症状	0. なし	1. 38.0℃以上の発熱	2. 39.0℃以上の発熱	3. 40.0℃以上の発熱	前回治療日から治療前日まで	治療当日
発熱	なし	1. 時々便秘をするが食事の	2. 定期的に下剤を服用して	3. 定期的に下剤を服用して		
便秘	なし	1. 時々便秘をするが食事の	2. 定期的に下剤を服用して	3. 定期的に下剤を服用して		
下痢	なし	1. 1日に3回までの下痢	2. 1日に4～6回の下痢	3. 1日に7回以上の下痢		
口内炎	なし	1. 痛みはほとんどなく食事は	2. 食事の内容を工夫すれば	3. 食事が食べられない		
	なし	何でも食べられる	食べられる	ほどの痛みがある		
吐き気	なし	1. 食欲はいつもよりないが	2. 吐き気で食事が減って	3. 吐き気で食事が減り		
	なし	食べられる	いるが体重減少はない	体重減少がある		
嘔吐	なし	1. 1日に1～2回の嘔吐	2. 1日3～5回の嘔吐	3. 1日に6回以上の嘔吐		
食欲	あり	1. 食欲はいつもよりないが	2. 食事が減っているが	3. 食事が減り体重が		
	あり	食べられる	体重減少はない	減っている		
だるさ	なし	1. だるさが生活に支障は	2. だるくて身の回りのこと	3. しびれが強く身の回りの		
	なし	ない	以外にしたい	ことに支障がある		
しびれ	なし	1. ごく軽い感覚の鈍さや違和	2. しびれるが身の回りのこと	3. しびれが強く身の回りの		
	なし	感があるが気にならない	をするのに支障はない	ことに支障がある		
皮膚		当てはまる症状があれば○をつけ(複数可)、どんな症状だったか【 】内にご記入下さい。 ()乾燥肌、()発疹、()指先・かかとなどがひび割れる、()かゆみ、()痛み、()爪の変形、 ()皮膚や爪の色の変化、()その他				
その他		何か気になる症状があればご記入ください。				

～チーム・委員会紹介～

「防火・防災対策委員会」の活動を紹介します！

～災害から患者さんを守るために～

防火・防災対策委員会は、委員長（病院長）を筆頭に 21 名の委員で構成しており、当院における「防火」や「防災」に関して万全を期すために設置した組織です。

主な役割は、災害時に病院職員が患者さんを守るための行動マニュアルの作成や、作成したマニュアルに基づく訓練の計画や実施を行っています。

訓練は、災害で起こる被害を最小限に抑えることを目的に年 2 回実施しています。

今回は、今年 2 月 15 日に実施した、病棟器材庫で夜間に火災発生を想定した訓練の様子を紹介します。

初期消火



現場指揮



患者避難



救 護

右足が・・・立てない！



消火器講習



訓練には医師や看護師など当院スタッフ約 40 名が参加し、初期消火、救護、避難誘導など、各役割に分かれて対応を確認しました。その他、小野市消防本部の職員の方を講師に招き、消火器の使用方法について学びました。当院は、今後も安心・安全な医療はもちろんのこと、防火・防災に対しても高い意識を持った医療人の育成に努めてまいります。



防火・防災対策委員会の様子

★病院探検ツアー

【手術室を紹介します】

～ 他職種が協力し合って 安全に手術を行っています！～



当医療センターの手術室は全部で9室あります。その内1室はハイブリッド手術室です。
昨年度（28年度）の手術件数は5025件（月平均418件）でした。

それでは、順に手術室を案内していきます

手術室での看護師の役割は？
「器械出し看護師」と「外回り看護師」

手術室の場所は3階にあります。
エレベーター（スタッフエリア）を3階で降り
ると目の前に手術室の入口があります。



長～い廊下を挟んで手術室が9室



端から端まで約80m！

ハイブリッド手術室



ハイブリッド手術室とは、手術台と血管撮影装置を組み合わせた部屋で高精細な透視と血管撮影が可能です

器械出し看護師



手術で使用する器具を迅速にかつ正確に術者が使用しやすいように自分にも周りにも安全に手渡す…匠の技で医師のアシストを行うのが役割です

器械出しの前準備



器械展開終了！
入室介助へ

▲手術に必要な器械を清潔に出す



ガウン・手袋を装着し、器械を使いやすい

手術に使用する器械、ガーゼ、小さな器械は手術前にWチェックして記録に残す ▼



手術が始まる前に器械出し看護師は、手術に必要な器械を展開します。器械の不具合などないか、確認しながら準備します

外回り看護師



手術中の患者のケアを行うと同時に手術全体の流れを把握するマネージャーのような役割です

- ・手術・麻酔が円滑に進行するよう援助
- ・患者を入室～退室まで責任をもって受け持つ
- ・患者の代弁者となって安全・安楽を守る

患者さんを迎える準備



「ずっと寝ていたら腰が痛くなる」と訴える患者さん



腰の下にふわふわのクッションを敷いて除圧 麻酔で眠る前に痛みの有無を確認



整形外科の腹臥位のような特殊な体位
(腰のヘルニアなど)



同一体位で長時間耐えられる神経障害・皮膚損傷がない



患者さんの苦痛が少しでも軽減出来るように、カンファレンスをして体位の工夫を行います。

いよいよ手術です

手術前の手洗い

皮膚表面の一過性微生物を爪、手、前腕からできる限り除去します



手術当日

～手術室の入口で～

お名前の確認をさせていただきます。
フルネームをお願いします
「リストバンドの確認もさせていただきます」
ここで、何の手術をされるのかを確認します
(手術側の左右の確認も、患者さんと一緒にいきます)



手術室看護師



外科医、麻酔科医、看護師、臨床工学士、薬剤師など、多くの職種の人が協力をして安全に手術を行っています

麻酔導入



だんだん眠くなりますよ



いよいよ麻酔導入

患者さんが、安心できるような声かけや、患者さんの好きな音楽をかけて、緊張の緩和に努めています。

スーパー麻酔科医



手術中



がん相談支援センター設置

がん患者さんやご家族、その他地域の住民の方々、地域医療関係者の方々に、がんに関するあらゆる相談窓口として、ご利用していただくために、4月から 1 階レストラン入口横の「地域医療連携室」内に『がん相談支援センター』を設置しました。

主な業務の内容

- ①がんの病態、標準的治療法等がん診療やがんの早期発見等に関する一般的な情報の提供
- ②診療機能、入院・外来の待ち時間や診療従事者の専門とする分野・経歴など、地域の医療機関及び診療従事者に関する情報の収集と提供
- ③セカンドオピニオンの提示が可能な医師の紹介
- ④がん患者の療養上の相談
- ⑤就労に関する相談
- ⑥地域の医療機関及び診療従事者等におけるがん医療の連携協力体制の事例に関する情報の収集と提供
- ⑦医療関係者と患者会等が共同で運営するサポートグループ活動や患者サロンの定期開催等の患者活動に対する支援
- ⑧相談支援センターの広報・周知活動
- ⑨相談支援に携わる者に対する教育と支援サービス向上に向けた取り組み

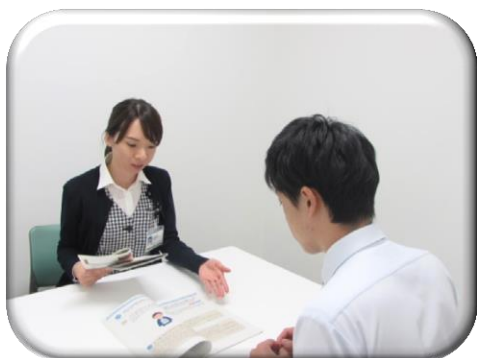


相談窓口での運用

開設時間：平日の午前 9 時 00 分～午後 4 時 00 分（土曜、日曜、祝祭日、年末年始は休み）

《対応》

- ①相談担当者は、相談者のプライバシーの保護及び秘密は厳守します
- ②がん相談支援センターでは、診断もしくは治療の判断は実施しません
- ③相談内容によっては、医師、専門・認定看護師、医事担当者等のコンサルティングを行います
- ④随時相談を行いますが、相談が重なった場合には、予約していただき相談を行います
- ⑤電話による相談にも対応します（ただし、来院の相談を優先します）
- ⑥相談料は無料とします
- ⑦1 回の相談時間は 30 分程度とします



神経内科を「脳神経内科」に名称変更

4月から「神経内科」を『脳神経内科』に名称を変更します。

今まで「神経内科」は「脳神経外科」や「心療内科」、「精神科」、「神経科」「精神神経科」と混同されることがあったため、昨年度、日本神経学会において、標榜診療科名を『脳神経内科』に変更することが決定されました。そこで、当医療センターにおいても標榜診療科名を変更するものです。

従来からある「脳神経外科」は脳内の神経疾患を外科的見地から診療を行うのに対し、脳及び神経・筋疾患を内科的見地から診療を行うのが『脳神経内科』です。

脳 神 経 内 科

診療内容は
特に変更
ありません



このたび標榜診療科の名称変更は、「脳神経外科」や「心療内科」、「精神科」等との混同を避けるためのものであり、「神経内科」の担当範囲を縮小するものではなく、「神経内科」が担当してきた疾患は従来どおり、『脳神経内科』で診療しますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

脳・神経の内科疾患は『脳神経内科』に受診を！

ご不明な点がありましたら、何なりと「脳神経内科」にお問い合わせください。

「かかりつけ医を持ちましょう」キャンペーン



4月6日（金）に「春の交通安全運動」が始まり、同日午後に小野警察署主催による「交通安全啓発キャンペーン」が当院正面玄関において実施されました。

このキャンペーンにあわせて、小野市市民安全部より声掛けをいただき地域医療連携室も「かかりつけ医をもちましょう」と病院主催のキャンペーンを連携して実施することになりました。

今回のような、様々な方が加わった合同キャンペーンの実施は当院初の試みでしたが、多数の職員及び関係者にご参加いただき、キャンペーンは無事成功いたしました。

今後もこのようなキャンペーンがありましたら、積極的に参加し、患者さんに「かかりつけ医」を持っていただく意識改革を促し、北播磨総合医療センターが本来あるべき役割・位置付けを啓発し続けたいと思います。



新しい「CT撮影装置」が稼動！



最新のCT撮影装置（GEヘルスケア社のフラッグシップモデル）『Revolution CT 256列』を導入し、3月1日から稼動を開始しました。（関西地区で初導入）

▼ 最新のCT撮影装置「Revolution CT 256列」



【新CT装置の大きなメリット】

○患者さんの負担軽減（その1）

撮影時間の短縮

新CTはこれまでのCTに比べ、約4倍の16cm幅の広さを1回転で撮影でき、撮影時間を大幅に短縮できます。そのため、息を止める時間が短くなり、お年寄りや小児の方にも安心して楽に検査を受けていただくことができます。

○患者さんの負担軽減（その2）

被ばく量及び造影剤使用量の低減

新技術（新世代逐次近似再構成法、デュアルエネルギー撮影）により、これまでのCTに比べ被ばく量が半分以上で、造影剤の使用量を半分に減らすことが可能となります。

○画質の向上による 精度の高い診断

高速撮影により「ブレが少ない画像」、幅広い撮影により「ズレやつなぎ目のない鮮明な画像」が取得でき、病変や腫瘍などを見つけやすくなります。



▲ CT撮影検査の様子

病院機能評価

一般病院 2 (3rdG : Ver. 1.1) の認定を受けました

「病院機能評価」とは、患者さんが適切な医療を安心して受けられるように、第三者機関である財団法人日本医療機構が、医療機関の医療の質や病院の機能を専門的見地から中立的・客観的な視点により評価するものです。

平成 29 年 11 月 16 日と 17 日の 2 日間に財団法人日本医療機構から 5 名の評価者が来院され、当医療センターが組織的に医療を提供するための基本的な活動・機能等が、適切に実施されているかについて、所定の評価項目に沿って病院の活動状況を詳細に審査されました。

その結果、「病院機能評価 一般病院 2 3rdG:Ver. 1.1」の認定を受けることができました。

当医療センターでは、このたびの病院機能評価の認定を励みに、今後さらに地域の医療機関と連携を強化し、患者さんが医療を安心して受けられる医療機関を目指してまいります。

※「一般病院 2」は、二次医療圏等の比較的広い地域において急性期医療を中心に地域医療を支える基幹的病院対象としています。

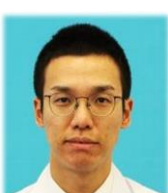
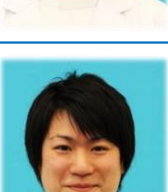


《審査の様子》





～ 新 任 ド ク タ ー

 総合内科・老年内科 部長 山田 克己 やまだ かつみ 平成7年卒業 【専門資格等】 日本内科学会総合内科専門医ほか	 外科 消化器外科 部長 柿木 啓太郎 かきのき けいたろう 平成9年卒業 【専門資格等】 日本外科学会専門医ほか
 精神科 医長 田中 健一 たなか けんいち 平成17年卒業 【専門資格等】 日本精神神経学会精神科専門医ほか	 循環器内科 医長 津田 成康 つだ しげやす 平成19年卒業 【専門資格等】 日本循環器学会認定循環器専門医 ほか
 消化器内科 医長 家本 孝雄 いえもと たかお 平成19年卒業 【専門資格等】 日本消化器病学会消化器病専門医ほか	 外科 消化器外科 医長 音羽 泰則 おとわ やすのり 平成20年卒業 【専門資格等】 日本外科学会専門医ほか
 整形外科 医長 新倉 路生 あらくら みちお 平成20年卒業 【専門資格等】 日本整形外科学会専門医	 脳神経外科 医長 田中 潤 たなか じゅん 平成20年卒業 【専門資格等】 日本脳神経外科学会専門医ほか
 眼科 医長 松本 佳子 まつもと よしこ 平成21年卒業 【専門資格等】 日本眼科学会専門医	 外科 消化器外科 医長 荒井 啓輔 あらい けいすけ 平成22年卒業 【専門資格等】 日本外科学会専門医ほか
 糖尿病・内分泌内科 医員 小川 雅史 おがわ まさし 平成24年卒業 【専門資格等】 日本内科学会認定内科医	 心臓血管外科 医員 河野 敦則 こうの あつのり 平成24年卒業
 整形外科 医員 大西 康文 おおにし やすあき 平成24年卒業	 リウマチ・膠原病内科 医員 土橋 直史 とばし なおふみ 平成25年卒業 【専門資格等】 日本内科学会認定内科医
 放射線診断科 医員 梶原 彰文 かじはら あきひろ 平成24年卒業 【専門資格等】 日本内科学会認定内科医	 整形外科 医員 鎌田 紘平 かまだ こうへい 平成25年卒業

紹介 ～ ※4月1日付け着任

診療部は、149名の
体制となりました！

 腎臓内科 専攻医 平成26年卒業 やましげ み か 山重 美佳	 脳神経内科 専攻医 平成26年卒業 しもむら まさひろ 下村 雅浩
 小児科 専攻医 平成26年卒業 もといき かずひろ 元生 和宏	 腎臓内科 専攻医 平成27年卒業 いわさき さとし 岩崎 慧
 脳神経内科 専攻医 平成27年卒業 かたなざか きみたか 刀坂 公崇	 整形外科 専攻医 平成27年卒業 すだ よしひと 栖田 慶仁
 形成外科 専攻医 平成27年卒業 よしもと な お 吉本 奈央	 外科、消化器外科 専攻医 平成28年卒業 おかもと しゅうじ 岡本 柊志
 脳神経外科 専攻医 平成28年卒業 かじもと ひろと 梶本 裕人	 泌尿器科 専攻医 平成28年卒業 ふくなが ひろゆき 福永 博之
 内科 専攻医 平成28年卒業 おかもと はやき 岡本 隼樹	ようしく お願いします！ 

 研 修 医 平成30年卒業 あらせ ゆ き 荒瀬 優希	 研 修 医 平成30年卒業 いずみや ま き こ 泉谷 真季子
 研 修 医 平成30年卒業 かわむら こうへい 川村 浩平	 研 修 医 平成30年卒業 さいがん まどか 西願 まどか
 研 修 医 平成30年卒業 しまさき とも や 嶋崎 智哉	 研 修 医 平成30年卒業 たるだに ゆうすけ 樽谷 雄介
 研 修 医 平成30年卒業 ち ち き る り 千々木 瑠里	 研 修 医 平成30年卒業 なか ともたか 中 智孝
 研 修 医 平成30年卒業 なか い さ き 中井 彩希	 研 修 医 平成30年卒業 なかむら ひろゆき 中村 浩之
 研 修 医 平成30年卒業 ひ ら い としゆき 平井 俊行	 研 修 医 平成30年卒業 こうづき じゅん 上月 惇
 研 修 医 平成30年卒業 たか た けん 高田 謙	 研 修 医 平成30年卒業 とよくに ひであき 豊国 秀昭

外来診療日程表

※初診の際に必ず予約が必要な診療科

外来受付時間は、初診：午前8時30分～11時30分、
再診：午前8時～11時30分。診察開始時間は午前9時からです。
午後は予約のみの診察となります。
平成30年4月5日現在

診療科		月	火	水	木	金	備考
総合内科、老年内科	午前	山名	小川	原	横野	門脇	
		西山	石田	山田	安友	吉田	
				川瀬	担当医		
				緩和ケア外来 (山名)			予約のみ(初診紹介予約)
循環器内科	午前	高見	粟野	山田	山田	吉田	
		田頭	平石			平石	
			寺下				
		不整脈センター 外来(吉田)		山脇	粟野	高見	再診(予約のみ)
		山脇		寺下	田頭		
					中村		
	午後		津田		藤田／浪花 (第1・3・5週／第2・4週)	ペースメーカー外来	予約のみ
消化器内科	午前	大瀬	田中	佐貴	家本	吉江	再診(予約のみ)
		阿部晶	佐貴	田中	吉江	大瀬	
		阿部哲	三木	肝臓外来 (平野)	二井	家本	
呼吸器内科	午前		松本	金城	上領	堂國	予約のみ
			高月		松本	高月	
					新家	金城	
	午後				川瀬		予約のみ
腎臓内科 完全予約制	午前	石田	北村	山重	腹膜透析外来	岩崎(第1・3・5週)	予約のみ
						西(第2週)	
						藤井(第4週)	
	午後				腹膜透析外来		予約のみ
糖尿病・内分泌内科	午前	安友	安友	西山	西山	山田	初診の方の診察は 総合内科・老年内科にて 対応いたします。 受付にてご確認ください。
		原	原	小川	勝二	藤原	
		石田	向田				
	午後				川瀬		予約のみ
脳神経内科 完全予約制 (初診紹介予約)	午前	担当医 (初診のみ)	濱口 (再診のみ)	濱口 (再診のみ)	小田 (再診のみ)	遠藤	予約のみ(初診紹介予約)
				遠藤		下村	
	午後	濱口 (再診のみ)	細見	濱口 (再診のみ)	小田 (再診のみ)	担当医 (再診のみ)	予約のみ(初診紹介予約)
		小田 (再診のみ)		遠藤	刀坂 (再診のみ)	高田	予約のみ
				下村 (再診のみ)		ボトックス外来	
						神経生理外来	
血液腫瘍内科	午前	杉本	大幡	今村 (腫瘍)	竹中	北尾 (血液)	予約のみ
	午後	竹中	大幡	今村	杉本	杉本	
リウマチ ・膠原病内科	午前	土橋	三崎	井上	宮崎	三崎	木曜日：予約のみ
		関節エコー外来					予約のみ
	午後	土橋	三崎	井上	宮崎	井上／土橋 (第1・3・5週／第2・4週)	予約のみ
		関節エコー外来					
外科、消化器外科	午前	万井	柿木	黒田	村田	黒田	再診のみ
		御井	音羽	岡本	荒井	藤中	
			岡		岡		乳腺(予約のみ)
ストーマ外来 完全予約制	午前	森田	森田	森田 (初診)	森田	森田 (初診)	予約のみ (担当：皮膚排泄ケア認定看護師)
	午後	ストーマケア相談 (第1週)					電話相談のみ(13:00～16:00)
整形外科 完全予約制 (初診紹介予約)	午前	今泉	瀧川	新倉	高畑	大西	予約のみ(初診紹介予約)
		瀧川	新倉	今泉		高畑	再診(予約のみ)
		手術処置		手術処置	手術処置	手術処置	予約のみ
	午後			スポーツ外来 (今泉)		脊椎外来 (高畑)	予約のみ
呼吸器外科 完全予約制	午前		高田 (再診のみ)	処置医師	高田		予約のみ
心臓血管外科	午前	麻田 (予約のみ)	顔	麻田		顔	予約のみ
	午後	麻田	顔	山田		顔	
						高橋	

診療科		月	火	水	木	金	備考
ペインクリニック内科 完全予約制	午前			佐藤			予約のみ
	午後						
産婦人科	午前	西井	西井	西井	中野 (受付10時まで)	中野	木曜日は初診・新患のみ
脳神経外科	午前	魚住	三宅		三宅	千葉	
		三宅	千葉		魚住	藤田	予約のみ
	午後	魚住	三宅		三宅	千葉	
		三宅	千葉		魚住		予約のみ
形成外科 完全予約制	午前	藤井	藤井	藤井	藤井 (第4週)		
		吉岡	吉岡 (再診のみ)	吉岡	吉岡		予約のみ
		吉本 (再診のみ)	吉本	吉本	吉本		
	午後	手術 学童外来(16時～)	レーザー外来	創傷外来	手術		第1～4水曜日はくつ外来併設 (予約のみ)
		レーザー外来 学童外来(16時～)	手術	創傷外来			
		学童外来 (16時～)	レーザー外来	創傷外来			予約のみ
小児科	午前	川崎	竹中	川崎	竹中	松野下	
		山本	元生	松野下	藤村	徳田	
				心身外来 (山辺)			予約のみ
	午後	発達初診(竹中) (第2・4週)	循環器外来 (こども／徳田) (第2週)	アレルギーⅡ (松野下)	小児外科 (加古川／川崎) (第2・4週)	腎外来 (松野下)	
		内分泌(山本) (第1・3週)	心エコー(徳田) (第1・3・4・5週)	内分泌 (山本)	神経 (神戸大学)	発達行動 (竹中)	予約のみ
		血液外来 (川崎)	アレルギーⅠ (竹中)	心身外来 (山辺)	アレルギーⅢ (徳田)	乳児検診 (山本)	
		予防接種 (元生)					
眼科	午前	西崎	松本	福田	松本	西崎 (第1・3週)	
						福田	
			福田	西崎	担当医	松本	再診のみ
	午後			硝子体注射			予約のみ
		硝子体注射	黄斑外来 (第3週)	角膜外来(長井) (第4週)		斜視・弱視外来 (第1・3週)	
			検査・レーザー	検査・レーザー		コンタクト外来 (第2・4週)	予約のみ
耳鼻咽喉・ 頭頸部外科 予約以外の受付は11時まで	午前	繁治		山本 (予約・紹介のみ)	繁治		
		山本 (予約・紹介のみ)		木戸上	木戸上		
		木戸上		繁治	山本		予約のみ
	午後	木戸上		繁治			
		山本		処置外来	処置外来		予約のみ
		免疫アレルギー 外来			免疫アレルギー 外来		
皮膚科	午前	神戸大学	熊野		神戸大学	神戸大学	
泌尿器科 予約以外の受付は10時まで	午前	武市	田中		松本		
			松本		武市		再診(予約のみ)
	午後	武市	田中		武市		
					松本		予約のみ
放射線診断科	午前		富田	足立	宮本		予約のみ
放射線治療科	午前	西川				宮脇	予約のみ
歯科口腔外科	午前	竹内	竹内	竹内	竹内	竹内	
		大橋	大橋	大橋	大橋	大橋	
	午後	小手術外来	小手術外来		小手術外来	小手術外来	
		再診	再診		再診	再診	各担当医(予約のみ)
精神科 もの忘れ外来 完全予約制	午前		もの忘れ外来 (見市)			東 (第1・2・3・4週)	予約のみ
	午後		もの忘れ外来 (見市)				予約のみ
認定看護師相談外来 完全予約制	※	がん看護相談外来 川邊					
		感染対策相談外来 高橋					
		慢性病看護外来 畑中(第2週)		慢性病看護外来 畑中(第2週)		慢性病看護外来 高橋(第2・4週)	予約のみ ※9:00～16:00

医療センターのバス停に「ベンチ」を寄贈

2月26日、小野市老人クラブ連合会（会長 今井恵三氏）様より、「屋外用据え置き型ベンチ2基」を寄贈していただきました。

○寄贈品目名 屋外用据え置き型ベンチ 2基

○設置場所 院外薬局前バス停



贈呈式では、今井会長から「バス停に設置し、患者の皆様がバス待合時間等の際、有効に利用して欲しい」と目録をいただき、当医療センターの横野病院長が感謝状をお渡ししました。



◀ 感謝状贈呈の様子

小野市老人クラブ
連合会の皆さま
どうもありがとう
ございました。



▲ 贈呈を受けたベンチ（2基）



▲ 院外薬局前バス停（病院建物の東側）

【編集後記】

日に日に暖かくなり、春の陽気が漂う好季節となり、当院も開院して5度目の春を迎えました。

本紙で紹介した医師をはじめ、新採用職員と共に新年度がスタートしました。

今回は防火・防災対策委員会を紹介し、当院での訓練の様子など当院での取り組みの一部を知っていただく事が出来たのではないのでしょうか？

3月には新しいCT撮影装置の開始や病院機能評価の認定、4月からはがん相談支援センターの設置、精神科の常勤医師の配置など、地域の医療機関との連携を図りながら、安心して医療を受けられる医療機関を目指してまいります。

本紙はこれからも院内の様々な情報を発信し、皆様のお役に立てるように広報委員会のメンバーで頑張っていきたいので、今後ともよろしく願っています。

栄養管理室

技師 粕谷幸司

